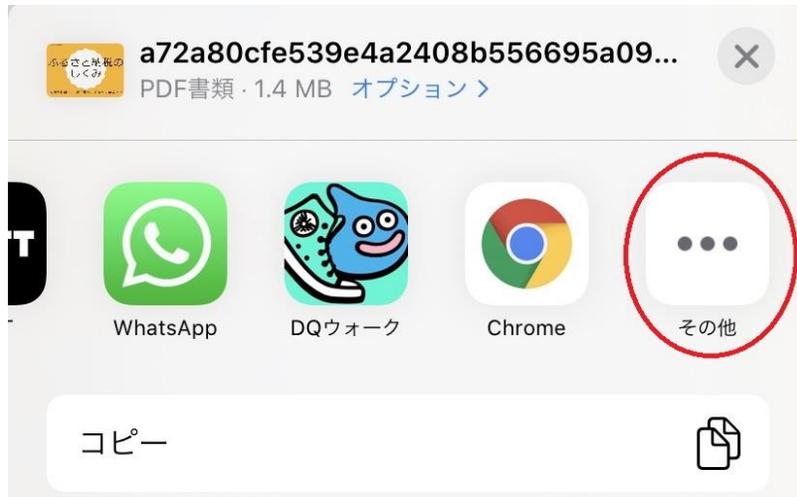


# iPhoneで見る方はブックに入れると見やすいです

1. 画面下のマークをクリック



2. 「その他」をクリック



3. 下の方にある「ブックにコピー」をクリック



4. ブックにダウンロードされるのでライブラリから見れます



# ふるさと納税の しくみ

5万やれば6.3万円返ってくるってほんと？

# ふるさと納税の仕組み (1/4)

住民は自分が住んでいる地方に住民税を支払っています



住民税  
30万円/年



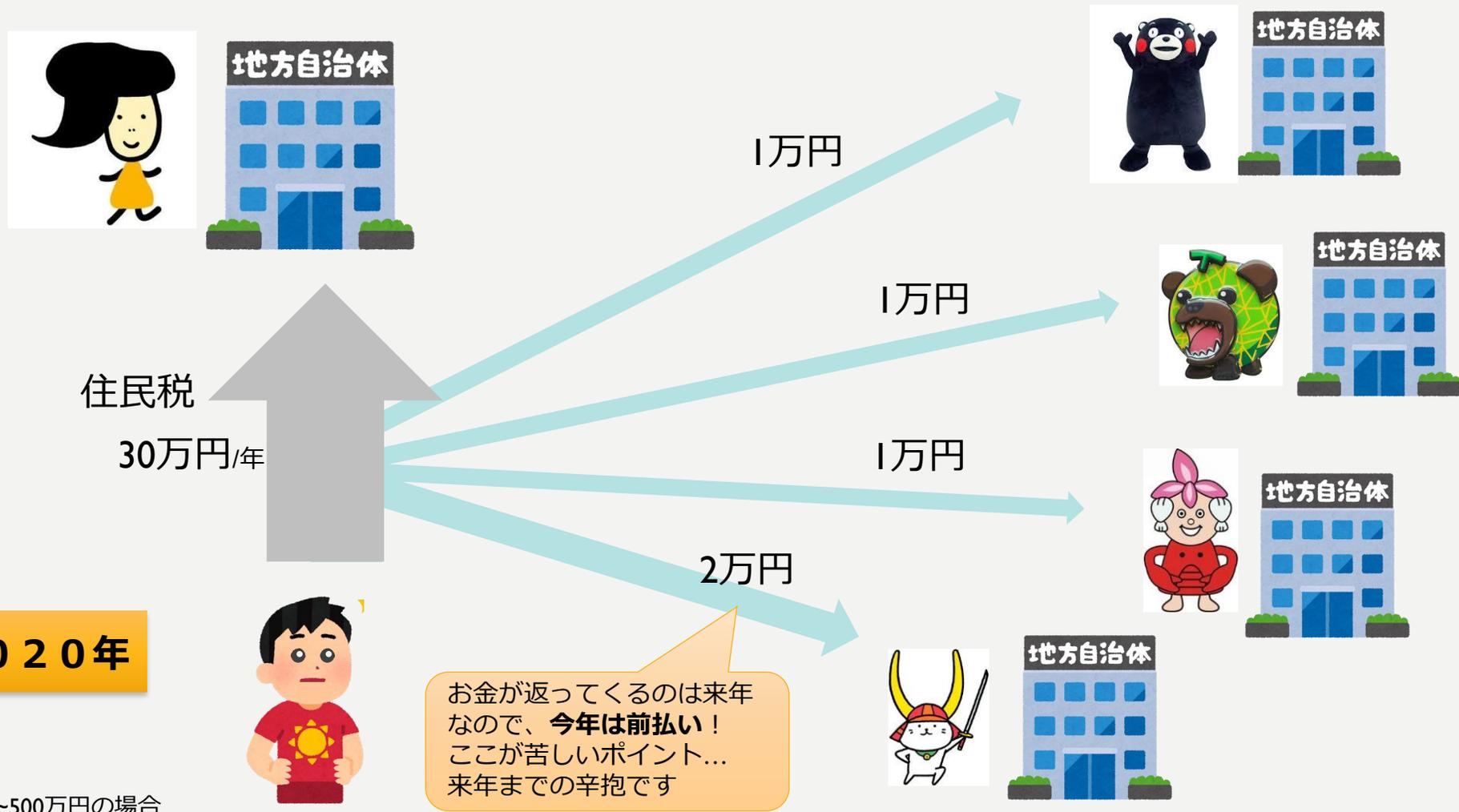
2020年



年収450~500万円の場合

# ふるさと納税の仕組み (2/4)

もともと納める予定だった税金の一部を前払いで他の地方自治体に寄付します

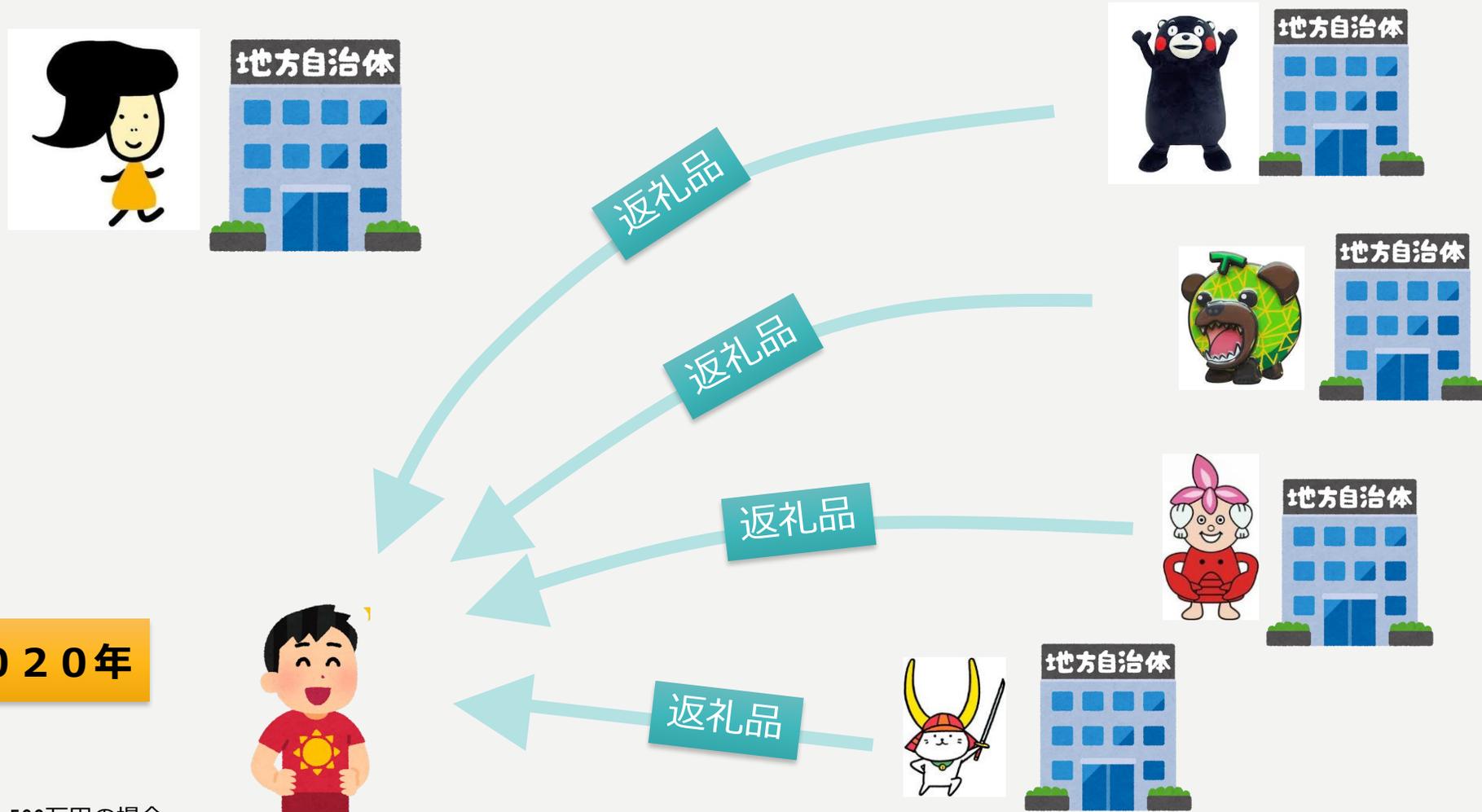


2020年

年収450~500万円の場合

# ふるさと納税の仕組み (3/4)

寄付のお礼として**返礼品**をもらえます



年収450~500万円の場合

# ふるさと納税の仕組み (4/4)

寄付した金額は**次の年**にかかる住民税から引かれます (= 寄付した金額が返ってくる)



住民税

30万円/年

25万円/年



2021年



年収450~500万円の場合

こんな商品がお礼にもらえます！



夕張メロン (等級: 優) 1玉

寄付額  
15,000円



寄付額  
10,000円



寄付額  
20,000円



寄付額  
12,000円

# ふるさと納税の仕組み（まとめ）

- もともと納める予定だった税金の一部を他の地方自治体に寄付できる
- 寄付のお礼として返礼品をもらえる
- 寄付した金額は次の年にかかる住民税から引かれる（=寄付した金額が返ってくる）

返礼品分がまるまるお得！

**5万円**寄付したら**6.3万円分**※の価値がかえってくる！

※6.3万円の内訳=5万円(翌年)+1.5万円分の返礼品 - 2,000円（ふるさと納税制度利用料みたいなもの）  
ただし1.5万円という金額は返礼率によって変わります。返礼率は自治体や返礼品ごとにさまざまです。  
制度上、最大返礼率は30%ですが、それ以下もそれ以上もあります。

# ふるさと納税 やるときのポイント

初心者向け編

# ふるさと納税やるときのポイント（初心者向け編）

初めての方は  
4つのポイント  
押さえればOK！

## 1. 寄付できる上限額があるのでチェックしましょう

1. これを超えるとただの自腹です。目安額は年収から簡単にわかります。

## 2. 10月くらいまでにやりましょう

1. 12月までやれますが、初心者は余裕をもった方がいいです。1月～12月寄付分が翌年の住民税から減額されます)

## 3. ワンストップ特例を使いましょう（確定申告不要になります）

1. ふるさと納税を行う自治体の数は5団体以内にしてください。6つ以上だとワンストップ特例が使えません。

## 4. 寄付のやりかたはネットショッピングでもの買うのと一緒です

1. 普段楽天市場で買い物する人は楽天市場でやると簡単。楽天市場で「ふるさと納税」って調べてみましょう。あとは買うだけ

※楽天だとアカウント注意必要！よくわからん人は「ふるさとチョイス」「さとふる」で購入が簡単☺

# 1. 寄付できる上限額があるのでチェックしましょう

## 1. 楽天市場で「ふるさと納税」と検索



## 2. こんな絵をクリック



## 3. あとは数字をいれるだけ

### かんたんシミュレーター（2020年分）

寄付上限額が3STEPでわかる！

ふるさと納税で自己負担額が2,000円を超えずに寄付できる上限額の目安を、年収と家族構成から簡単に計算できるツールです。寄付金額を検討する際のご参考としてご活用ください。  
ふるさと納税は、所得のある方ならどなたでも簡単に利用できる制度です。



STEP 01	STEP 02	STEP 03
年収	家族構成	扶養家族
450 万円	独身 <input type="checkbox"/> 既婚 <input checked="" type="checkbox"/>	いない <input type="checkbox"/> いる <input checked="" type="checkbox"/>
	配偶者控除	
	あり <input type="checkbox"/> なし (共働き) <input checked="" type="checkbox"/>	
		0~15歳 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人~ <input type="checkbox"/>
		16~18歳 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人~ <input type="checkbox"/>
		19~22歳 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人~ <input type="checkbox"/>
		23歳以上 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人~ <input type="checkbox"/>
あなたの寄付上限額 (目安) は		54,800円 <input type="button" value="保存する"/>

これが上限。あくまで目安なので上限ぎりぎりまで寄付するのはやめましょう

## 4. 10月くらいまでにやりましょう

- ワンストップ特例での申請期限は翌年の1月10日まで



- 郵送での処理なので、間違えたりすることも考えて**10月くらいまでにやりましょう**
- 1月～12月までならいつふるさと納税しても一緒です

# 3. ワンストップ特例を使いましょう（確定申告不要になります）

- やり方は簡単！
- 寄付を申し込むときに「ワンストップ特例希望します」とします
- 届いた書類にマイナンバーとか書いて必要書類添付して返信したら完了！

## [豆知識] なんで申請必要？

- ふるさと納税は「翌年の住民税の前払い」です。わたしがはらったんだぞーっていう証明をしておく必要があります。
- 方法は「ワンストップ申請」か「確定申告」の2通り
- 普通に給料もらいながら働いている会社員なら簡単なのでワンストップ申請にしときましょう

ワンストップ特例の申請書色々書いてありますが、ほとんど埋まっているので書くところはちょっとです

## 2. 寄付のやりかたはネットショッピングでもの買うのと同じです

1. 先ほどの楽天の検索結果見てみると色々商品が並んでるとおもいます。ほしい商品をクリック！
2. 内容確認したら「寄付を申し込む」を押すと、あとはいつものネットショッピング！



ワンストップ特例制度の申請書をもらうようにしましょう

# ふるさと納税を もっとお徳に

中級編

# ふるさと納税をもっとお得に（中級編）

- 楽天以外に色んなサイトがあるので見てみましょう。実は返礼品の品ぞろえが違います。サイトによって、Amazonギフト券がついたり、楽天ポイントがついたりします。

サイト名	掲載自治体数	ポイント還元	レビュー	特徴
楽天ふるさと納税	873	最大30%	○	・楽天カードユーザーは3%~30%ポイント還元 ・楽天会員は新規登録不要
ふるなび	389	1%	○	・Amazonギフト券還元 ・家電の返礼品が充実
さとふる	756	-	○	・オリジナルの大容量返礼品 ・返礼品が届くまでの期間が他サイトよりも短い自治体も
ふるさとチョイス	1,514	-	○	・老舗サイト ・利用者数、掲載自治体数No.1
ふるさとプレミアム	62	6%	×	・随時ページ経由で6%相当のAmazonギフト券還元
ふるばび	244	-	×	・JTBが運営 ・「ポイント制」を導入
ふるさと本舗	26	3%	×	・特集が豊富
au PAY	180	-	×	・KDDIが運営 ・Pontaポイントが使える
ANAふるさと納税	215	1%	×	・マイルが貯まる
Yahoo!ふるさと納税	3月末終了	-	×	・Tポイントが使える

引用元：徹底比較！2020年ふるさと納税サイトおすすめベスト10を発表（10秒診断つき）  
[https://furu-sato.com/recommend\\_site](https://furu-sato.com/recommend_site)

初めてなら「ふるさとチョイス」「さとふる」が簡単！  
 ポイントほしい人は「楽天ふるさと納税」をトライしましょう  
 ※楽天の場合はアカウント注意！ログインアカウントが納税者本人である必要があります

- 返礼品の返礼率（返礼品の小売価格／寄付金額）は30%以下と定められていますが、30%以上になるものもあります。理由不明

防水ヘッドケア機

新商品 蒸気

出典：ふるなび

寄付金額: **55,000**円

還元率: 70.0% (※)

高還元率の電化製品に、編集部内でもどよめきが起こりました。楽天で38,500円で提供するショップがありました。2020年1月時点で価格.comでは42,350円が最安値です。とても気持ちが良い、眠りそうになったなど、利用者の満足度も高いです。

> 詳しく見る

返礼率 70% !!

# ふるさと納税の 注意点

上級編

# ふるさと納税の注意点（上級編）

1. あくまで来年の住民税の額が下がる。**お金が直接返ってくるわけではありませんし今年の住民税額は変わりません。**
2. **正しい上限額はだれにもわかりません。**正確な上限額は「**今年の年収**」から計算されますが、寄付の時点では未来の話。年収が去年と今年で大きく変わる可能性がある人は要注意。
3. **住宅ローン控除など控除額が大きい制度を利用している人は要注意。**すでに住民税の控除を受けている可能性があるのので、もうちょい正確な上限額を調べておきましょう。ふるさとチョイスのサイトがよさそうなのでリンク張ります。昨年の源泉徴収票を見ながら入力してね <https://www.furusato-tax.jp/about/simulation>
4. 楽天でやる場合は、**ログインアカウントがふるさと納税する本人であることを確認してください。**間違っても何とかありますが少しめんどくさいです。楽天アカウントが旦那のしかねーよ！って人は他のふるさと納税サイトでやればOK！
5. **支払をクレジットカードにした場合は住民税を納税する人の名前のものを使いましょう！**あとから何とかありますが、こちらも楽天のアカウント同様、少しめんどくさいです。「住民税の前払い」なので基本的に来年の住民税を支払う人が払っていることを証明しておく必要があります。

# ふるさと納税の 背景

おまけ編

# ふるさと納税の背景（おまけ編）

- 地方の過疎化、都市集中型に社会が変わってきた
- 地方の住民が減少した
- そのため、住民税の税収が少なくなった（また、地方の高齢化で、住民の収入減で税収減）
- 都市と地方の自治体で税金収入に格差が生まれた
  
- 地方にお金を回すために、住民税の一部を地元や他の応援する地方に収められるようにした
- （住民税の納付先が変わるだけのため、納税者には不利益にならないようになっている）
- 地方はお金を寄付してもらうために返礼品を用意した
- 納税者は返礼品目当てに寄付先を決めるため、高い返礼率の返礼品が横行
- （例えば、3万円寄付すると5万円のiPadが返礼される、など）
- 政府の規制により「返礼率は30%以下」、「自分の地域の特産品」に限定された